



小さな平和の連鎖を

石田 紗也香 (名古屋 YWCA 会員)

3月23日(土)～25日(月)の3日間、名古屋YWCAが主催する第4回沖縄スタディツアーに参加しました。

このスタディツアーは、沖縄平和祈念資料館から始まりました。佐喜真美術館、チビチリガマ、シムクガマといった沖縄戦を学ぶ場所や、高江のゲート前、辺野古の基地建設、道の駅かでなといった、現在の沖縄が抱えているアメリカ軍基地の問題を見ることが出来る場所を見学しました。

3日間だけの滞在でしたが、ツアーを通して強く感じたことは「土地が血の経験を覚えている」ということです。日本で唯一地上戦が行われ、多大なる犠牲があったという経験が、世代を超えて沖縄の人々の記憶と心に残っているように見えました。また、戦争が終わってからもアメリカの占領下に置かれ、人間らしく暮らす生活を損なわれてきた屈辱の経験が、より一層沖縄の人々にとって「このままではだめだ」と思わせる原動力になっているようにも感じられました。

こうした沖縄の人々の思いとは裏腹に、私たちが暮らす名古屋をはじめ、本土の人々の沖縄に対する意識は、他人事のような状態が続いています。さらに、「沖縄で守ってくれているから安全だ」という考えも根強く浸透しています。沖縄に暮らす人でさえも、「関係ない話」と割り切っている人がいることも現実です。しかし、先日行われた辺野古基地建設をめぐる沖縄県民投票の結果のように、多くの沖縄の人々は、基地のある生活からの脱却を望んでいます。

「平和」を実現する手段として、一部の人が人間らしく暮らせる権利を奪って行うのか、それとも非暴力で築きあげていくのか。もちろん、後者がめざすべき考えだと思っています。そのためには、過去にどのようなことが起き、

その結果、現在も苦しい思いを強いられている人がいるという現実を知ることが、平和を考えるための第一歩になるのではないかと思います。なぜなら、知ることによって、涙と苦しみの経験を記憶する人が増え、忘れることのできないこととして残っていくからです。こうした過去の記憶が、平和な未来を築くための原動力となっていきます。

全ての人の考えを変えることは難しくても、身近な人たちからこの経験を伝えていくことで、小さな平和を作ることができます。この小さな平和の連鎖を、名古屋から、そして神戸の方々にもつなげていくことで、真の平和を実現していく力になると信じ、私自身の言葉として、沖縄での経験を伝え続けていきたいです。



辺野古の集會にて

河東けいひとり語り 「母—多喜二の母—」

4月13日(土)神戸YWCA会館チャペルで、河東さんのひとり語りを聴くことができました。原作は小林多喜二の母、セキの生涯を描いた三浦綾子さんの「母」です。セキさんの思いが、河東さんに移り移ったのではないかと、思われるほどの迫真の語りでした。

私は二つの理由で、YWCAで聴けて良かったと思えました。一つは語りの中に出てくる多喜二の女性に対する考えです。貧困ゆえに売られたタミちゃんを救い出した多喜二は、彼女に思いを寄せていたにもかかわらず「男と女は互いに自由でなければならない」と、彼女の意志を尊重します。女性も学び、自立すべきだと考えていたのです。

もう一つは、セキさんが晩年、



河東けいさん

教会でイエス様が多くの貧しい人々を救ったことを知り、多喜二の生き方にも通じると考えたことです。受難したイエスを抱きあげる母マリアの絵を見たセキさんは、心が震えるのでした。

YWCAのミッションをあらためて考える午後になったと思います。

(寺沢 京子)

❖ 加盟 YWCA 中央委員会に参加して

5月24日(金)全国会長会、25日(土)～26日(日)加盟YWCA中央委員会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれた。

会長会では、YWCAのロゴやバリューについてワークショップを行った。中央委員会では2018年度の活動報告があり、特にその中の7つのユースの取り組みの報告では、「ユースの学んだことをこれからも続けて考え、行動していきたい」という言葉に励まされた。次に、2020年に開かれる全国会員総会の議題となるYWCAの「ミッション・ビジョン・バリュー」について、グループに分かれて話し合った。オープニングプログラムでは、菱山南穂子さん(許すな!憲法改悪市民連絡会事務局次長)と神谷武宏さん(緑が丘保育園長/普天間バプテスト教会牧師)の話聞いた。

ハードなスケジュールではあったが、全国の仲間の声、またYWCA以外の運動の話の聞いたのは有意義だった。

(会長・野村 春美)

❖ イースター早天礼拝

神戸YMCA/YWCA イースター早天礼拝が4月21日(日)、神戸東遊園地で行われ、約100人が参加した。

「見ないで信じる者は幸いである」と題して山田雅人牧師(日本基督教

団甲南教会)より奨励があり、イースターの恵みを喜びあった。礼拝後、YMCA/YWCAの近況や活動報告、お茶やスープ、イースターエッグで歓談のひとときを過ごした。

(キリスト教基盤部・宮田 泰子)



メルボルン通信



メルボルンに留学中のゆうなです。今回は日本とオーストラリアの大学生活の違いについて述べてみます。それは、学生の勉強量と学校の設備です。授業数は日本の方が多いですが、一つの授業に対する予習復習にける時間数はオーストラリアの方が多いです。予習復習をしなければ、授業に全くついていけません。そのため、学生は授業のない日にも学校に来て勉強しています。それをさせてくれるのが、24時間開いている図書館です。学習スペースはいつも満員で、学生は予習復習課題に追われています。

(古田 結菜)

2019 神戸 YWCA キックオフ・ミーティング

神戸YWCAで活動する会員・ボランティアが集まり、ビジョンや目標を確認しあうオリエンテーションです。今回はボランティア説明会も兼ねていますので、神戸YWCAでボランティアをしてみたい、と思っている方にも活動の全容を知っていただけます。ぜひご参加ください!

日時: **6月8日(土) 15:00～18:00**

場所: 神戸YWCA会館5階チャペル

第1部 15:00～16:30 参加費: 無料

①オリエンテーション(YWCAのミッション、活動方針、活動の基本、100周年に向けて) ②各部・グループの活動紹介 ③世界YWCA総会への派遣について

*各部・グループから必ず1人以上はご出席ください。

第2部 16:30～18:00

ドイツワイン愛好家の三浦哲朗さんと楽しむ、ワインのお話と懇親会
参加費: 1,500円(ワイン、軽食付)

お申し込み・お問い合わせ: 神戸YWCA事務局受付(078-231-6201)まで



❖ 日韓 YWCA カンファレンス報告

平和活動部では4月17日(水)、モーア・アンさんを招いて「日韓 YWCA カンファレンス」について学習会を行いました。

モーアさんの「ともに考え学び合いましょう」という謙虚な姿勢に好感を持ちました。

私たちは、偏見と差別に苦しむ「在日」の問題など、過去の歴史や在日問題などの真実に向き合うことの重要性を再認識しました。

また、『日韓 YWCA 共同声明』にある「イエスの歩みに従いたい私たち」の「従いたい」は、YWCA のミッションである「学びたい」という意味だと思いました。

(平和活動部・池田 清)

❖ 世界 YWCA デイ

リーダーシップを称え合う世界 YWCA デイ。5月18日(土)、神戸 YWCA チャペルにて開催し、13人が参加した。はじめに、世界 YWCA 総幹事のメッセージを片山恵さん(声の奉仕グループ)に読んでいただいた。

活動報告では、「日韓ユース・カンファレンス 2018」のテーマ、ルッキズム(外見によって人を評価・判断・差別する現象)と、国立ハンセン病療養所 邑久光明園におけるボランティア活動を通じた学びから考えたことを話した。どちらも社会の文脈に埋め込まれて起こる問題であり、私たちは簡単に抵抗できなくなることが危惧される。違和感やモヤモヤをそのままにせず、共有できる場づくりの重要性を改めて再認識した。また、参加者との活発な質疑応答で、交流を深めることができた。

(福田 百)

あの不思議な光景を見届けよう

VOL.8

プロジェクト Y まごの手から、総合サポートセンター構想案が浮上してきた。

「(介護の分野では)施設から在宅への動きも加速し、地域包括ケアシステムの構築が急がれるが、最期まで在宅で自分らしい暮らしを続けるためには、介護保険や障害福祉の制度だけでは支えられず、多くのもの・ことが不足している、あるいはばらばらに存在している状況である。神戸 YWCA は、介護・福祉の専門職と、会員・ボランティアによる活動という基盤を持っており、これらを統合していくことで、より充実したサービス提供ができるのではないかと

考える。」(趣意書より抜粋)

神戸 YWCA には高齢者支援のみならず、障がい者支援、母子支援、在住外国人への日本語教育をはじめとする教育支援、小規模保育など、多岐にわたる事業がある。ここに会員活動が加わり、大きな裾野が広がっている。総合サポートセンター構想はまごの手から出発しているが、この構想が神戸 YWCA の全ての事業や活動を横断し再統合すると考えたら、ドキドキわくわくしてきた。

創立 100 周年以後の神戸 YWCA の姿が、小さな灯火のようではあるが、見えてきたように思えた。(総幹事・西本 玲子)

子ども日本語トータルサポート募金

あなたの寄付で子どもたちにチャンスも！

初期日本語学習

「勉強に役立つ日本語クラス」

教科学習

オリジナル教材作成

居場所づくり

進学相談



外国にルーツを持つ子どもたちのためのトータルサポートをご支援ください！

目標額 **200万円**
募集期間 **～2019年9月30日**

ご寄付はこちらへ



郵便振替 01100-0-10298 公益財団法人神戸 YWCA

クレジットカード(オンライン決済) * QRコードを読み取り、アクセスしてください。

* 振替用紙の通信欄に「子ども日本語」とご明記ください。

神戸 YWCA へのご寄付は税額控除の対象になります。詳しくは事務局へお問い合わせください。



六甲の山並みを背景に生田川沿いの小径を YWC A まで歩きながら

四季折々の草花や街路樹を愛でつつ、会議用の草花摘みも楽しんで通っています。

YWCA との関わりはヘルパー養成講座の受講がきっかけでした。当時、父が亡くなり親孝行ができなかった後悔の念から、何かお役にたてることができたらという思いがありました。その中で、スタッフだった守屋章子さんから YWCA のことをいろいろ教えて頂き、私の気持ちに何かヒットするものがあつたのだと思います。運営委員会はいろいろな活動に参加、多くの人々との出会い、90周年記念行事にも関わるなどアクティブな 50 代を過ごしました。

しばらく休眠していましたが、昨年からまた運営委員としてあらためて YWCA と深く関わることになりました。くしくも創立 100 年の時も迎えます。これもご縁でしょうか。60 代の私の成長の機会にできたらと願っています。どんな小径を歩くのでしょうか。わくわくしています。(岩切 幸子)



**YWCA
オリジナル
チャリティー
ドリップコーヒー**

1袋 200円 (寄付を含む)
本館・分室でお求めください。

10個・20個入
ギフトボックス
もあります！



**クレジットカードで
かんたん決済**

神戸YWCAのホームページで、クレジットカード決済ができるようになりました。株式会社ロポットペイメントの決済代行システムを利用しており、セキュリティは万全です。

寄付、賛助費
会費・会友費

にご利用いただけます。

右のQRコードを読み取り、アクセスしてください。



● Peace Bridge (ピースブリッジ) その他

学び語り合い繋がる会「読書会」
6月14日(金) 14～16時
場所 喫茶「エスポワール」(阪急六甲駅南側、078-882-0351)
ゲスト 池田清さん(会友・元松蔭女子学院大学教授)
参加費 500円(ワンドリンク代)

● 平和活動部ゲスト学習会 本館

「7世代に思いをさせて～放射能汚染から子供たちを守るために～」
6月29日(土) 14～16時
講師：小橋 かおるさん(大学英語講師)
参加費：500円
お子さま連れ歓迎

● ちゃいああらんど 分室

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
「定例会」
6月19日、7月3日、17日、31日(水)
11～15時
参加費 300円(1回)
「ぬいぬいの会」6月14日(金) 10～12時
参加費 500円(1回)

● 地域のお店くるくる (リサイクルファッション) 分室

6月20日、7月18日(木) 13時30分～15時

● カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
7月6日、8月3日(土) 10時30分～15時
参加費 700円
＊昼食はカレーを作って食べます(要予約)。

「認知症サポーター養成講座」 本館

6月29日(土) 10～11時30分
講師：沖本 雅子さん(キャラバン・メイト)
参加費：無料(定員20人、担当・塩見)

● 木曜カフェ 分室

毎週木曜日 14時～16時
マルシェとカフェでほっこりしに来てください！

● 夜回り準備会ボランティア募集 分室

毎月第2・4土曜日の18～21時頃
灘区、東灘区で路上生活をしている方々を訪問します。一緒に活動して下さるメンバーを急募。運転できる方、特に大歓迎です。
電話(078-221-5111)・メール(yomawari@kobe.ywca.or.jp)でお問い合わせください。

分室だより

連休の2日間(4/30、5/1)、わいわいランチ利用者の要望に応じて配食サービスを実施しました。休みを返上して朝早くから集まったボランティアが、いつものように調理・配膳・配達をしました。2日間とも注文のキャンセルはほとんどなく、「わいわいランチ」が利用者にとって必要とされていることを実感しました。そして、この体験はボランティアにも活動を続けていく大きな励みになりました。
(塩見 洋子)

まごの手だより

4月にはケアマネジャーの天鳥玲子を迎え、5月にはヘルパーの小野美津江を迎えました(いずれもパートタイム)。地域の中には、ひとり暮らしの方、老老介護の方が大勢おられ、できるだけ長く自分の家で過ごしたいとの願いを

持っておられます。それを支えるヘルパーが不足しています。その人らしい暮らしを支えるために、共に働いてくださる方をお待ちしています。
(所長・寺内真子)

運営委員会報告

(3月)【議事】▶2019年度への引き継ぎ▶2019年度運営委員会役員・各部担当決定▶運営委員会日程
(4月)【報告】▶LA II「会員スキルアップ～4市YWCA」進捗▶各部・プロジェクトメンバー募集の件▶100周年記念ロゴ決定と記念募金▶会員活動のSNSアカウント開設について【議事】プロジェクトY 2018年度報告と2019年度計画▶キックオフ・ミーティング▶世界YWCAデー▶運営委員会より野村会長を理事会に選出▶地域福祉部担当運営委員(野村/岩切)▶2018年度運営委員会活動報告文案

検討▶会員委員会より100周年事業実行委員会との協働提案を承認▶指定寄付(被災者支援指定寄付金)の取り扱いと会計処理について(5月)【報告】▶日本YWCA関連(世界YWCA総会派遣進捗)▶LA II「会員スキルアップ～4市YWCA」ユース育成チームミーティング【議事】▶各部・プロジェクトメンバーを承認▶世界Yデーのスケジュール・役割分担確認▶キックオフ・ミーティングのプログラム検討
(書記・岩切 幸子)

理事会報告

3月25日(土)第5回理事会開催。2019年度事業計画(案)と予算(案)、2019年度資金調達および設備投資の見込み等について協議承認した。4月15日(月)第6回理事会開催。住宅確保要配慮者居住支援法人の指定申請

の件について決議承認した。6月23日(木)第7回理事会開催。2018年度事業報告(案)・決算報告(案)、定時評議員会の招集、100周年記念募金について協議承認した。
(総幹事・西本 玲子)

新入会員

佐々木 彰子

賛助員

井上 力 岩村 義雄
中村 昭子 平山 嘉廣
宮田 茂雄 三浦 哲朗
株式会社サンビルダー(敬称略)

編集後記

今年度の神戸YWCA 標語聖句にあるように、一人ひとりが活動の中で光となることを願う。
(S・T)

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～
パート 時給 1,100～1,200円
登録型 時給 1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

**神戸YWCA
まごの手**
☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



よい てん ご く
0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町 2丁目 13-2

URL: <http://sanosousai.com>